

乳幼児がかかりやすい主な感染症

病名	感染しやすい期間	潜伏期間	登所のめやす
麻疹(はしか)	発症1日目～発しん出現4日後	8～12日	解熱後3日を経過してから
風しん(三日はしか)	発しん出現の前7日～後6日間くらい	16～18日	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現2日前 ～痂皮形成(かさぶた)まで	14～16日	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前～耳下腺腫脹後4日	16～18日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
百日咳	咳出現後2週間以内 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	7～10日	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
手足口病	手足や口腔内に水泡、潰瘍が発症した数日間	3～6日	解熱し普段の食事が出来るようになったら
伝染性紅斑 (リンゴ病)	発しん出現前の1週間	4～12日	全身状態が良くなったら
咽頭結膜炎 (プール熱)	発熱、充血等症状が発現した数日間	2～14日	主な症状が消滅し2日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間 (発症前24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い)	1～4日	発症した次の日から5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで (最低、発症した次の日から5日経過してから)
新型コロナウイルス感染症	発症後5日間	約5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が発現した数日間	1週間前後	感染力が非常に強いいため、結膜炎の症状が消失してから
急性出血性結膜炎	ウイルス排出は呼吸器から1～2週間、便からは数週間～数か月	1～3日	医師が感染のおそれがないと認めるまで
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	3～6日	発熱がなく(解熱後1日以上経過し)、普段の食事が出来るようになったら
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	2～3週間	発熱及び激しい咳が治まったら
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1週間	2～7日	抗生剤内服開始後24～48時間経過してから(ただし治療の継続は必要)
伝染性膿痂疹 (とびひ)	病変持続期間 (効果的治療開始後24時間まで)	2～10日	皮しんが乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること
腸管出血性 大腸菌感染症	症状が出ている期間	3～4日	医師が感染のおそれがないと認めるまで(症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によっていずれも菌数生が確認されてから)
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルス等)	症状がある間と症状消失後1週間 (量は減少していくが、数週間はウイルスを排泄しているので注意が必要)	ロタ1～3日 ノロ 12～48時間	症状が治まり、普段の食事ができるようになったら
RSウイルス感染症	呼吸器症状がある間	4～6日	呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなったら
ヒトメタニューモウイルス感染症	呼吸器症状がある間	4～6日	呼吸器症状が消失し、全身状態がよくなったら